

国際農林業協力

JAICAF

Japan Association for
International Collaboration of
Agriculture and Forestry

特集：食と栄養のバリューチェーン

アフリカにおける栄養改善：市場の役割

バングラデシュにおける食品安全の現状と課題

生物学的栄養強化作物の普及を通じた食品安全保障強化への取
り組み：アフリカ4ヵ国における現状と課題

エチオピア連邦共和国アムハラ州におけるコメ生産向上への取
り組み —大規模展示活動を通じた普及と優良種子生産・供
給体制の改善—

家畜衛生にまつわる国事情 —食と栄養と国際協力と—

Vol. 47 (2024)

No. 2

公益社団法人
国際農林業協働協会

巻頭言

食と栄養のバリューチェーン

睦好絵美子 …………… 1

特集：食と栄養のバリューチェーン

アフリカにおける栄養改善：市場の役割

櫻井 武司 …………… 2

バングラデシュにおける食品安全の現状と課題

クルシェッド・アラム、吉野馨子 …………… 12

生物学的栄養強化作物の普及を通じた食料安全保障強化への取り組み：

アフリカ 4 ヶ国における現状と課題

比嘉 桃子 …………… 21

エチオピア連邦共和国アムハラ州におけるコメ生産向上への取り組み

—大規模展示活動を通じた普及と優良種子生産・供給体制の改善—

松田明・白鳥清志 …………… 29

家畜衛生にまつわる国事情 —食と栄養と国際協力と—

柏崎 佳人 …………… 38



食と栄養のバリューチェーン

一般財団法人ササカワ・アフリカ財団 事務局長

睦好 絵美子

2021年の東京オリンピック・パラリンピックに合わせて東京栄養サミットが開催されたことは記憶に新しい。次回の栄養サミットはパリオリンピック開催後の2025年3月にパリで開催することが発表されている。東京栄養宣言では、先進国・開発途上国を問わず、低栄養と過栄養の二重負荷が注目された。15億人の子どもが発育阻害となっている一方で、世界の20億人が過体重または肥満であり（うち70%が低・中所得国）、生活習慣病のリスクに関連する。

食と栄養の安全保障については、2008～09年の食糧価格高騰と世界的金融危機を契機に、貧困と飢餓・低栄養が注目されたことに始まり、国連や国際機関が中心となって様々な国際的な目標が設定され取り組みが行われてきた。2015年に採択された持続可能な開発目標（SDGs）において、すべての人々が安全かつ栄養ある食料を確保することが目標とされ、あらゆる形態の栄養不良の解消とともに、持続可能な食料生産システムの確保と強靱（レジリエント）な農業の実践に注力することがターゲットとなったことは、開発途上国の農業・農村開発に携わる者として賛同の意を強くした。

農業・食料システムを通じた栄養改善の方策は大きく4つあると考える。①一般消費者

向けには栄養に配慮したバリューチェーンの構築、②コミュニティー・ベースでは家庭菜園の推進や学校給食の拡充、③農産物の生産・流通における質と量の確保（栽培時や収穫後保存時の安全性の確保、栄養価の高い農産物の年間を通じた生産、気候変動に適応した品種や灌漑等）、④農家の農業経営能力の向上を通じた所得向上により、消費者としての農家が栄養価の高い農産物を市場から入手すること、である。

2018年に国際農業開発基金（IFAD）が作成した栄養に配慮したバリューチェーンの指針によると、食のバリューチェーンを栄養レンズを通して見直すことで、栄養改善につながるという。具体的には、①社会的なキャンペーンや教育による行動変容を促進する、②消費者が健康に良い食物を選択できるよう、多様な作物や食品を販売する、③経済的価値のみではなく、栄養価、フードロス、フードセーフティなどを付加価値とする、④ジェンダー、気候変動、環境保全への副次的効果にも着目する等が提言されている。

栄養改善は農業・食料分野のほか、水・衛生環境の向上、保健サービス、栄養と健康に関する教育の推進、さらにはジェンダー平等や社会的保護など地道な取り組みが欠かせない。栄養に配慮した食のバリューチェーンは、戦略的に商品開発やマーケティングを行うことで栄養改善のゲームチェンジャーとなる可能性は十分にあるのではないかと感じている。

MUTSUYOSHI Emiko: Food and Nutrition Value Chain.

「国際農林業協力」誌編集委員（五十音順）

- 池 上 彰 英 （明治大学農学部 教授）
板 垣 啓四郎 （東京農業大学名誉教授）
大 平 正 三 （元一般社団法人海外農業開発コンサルタント協会 企画部長）
勝 俣 誠 （明治学院大学名誉教授）
北 中 真人 （一般財団法人ササカワ・アフリカ財団 理事長）
高 原 繁 （公益財団法人国際緑化推進センター 専務理事）
西 牧 隆 壯 （公益社団法人国際農林業協働協会 顧問）
藤 家 梓 （元千葉県農業総合研究センター センター長）

国際農林業協力 Vol.47 No.2 通巻第 211 号

発行月日 令和 6 年 9 月 30 日

発行所 公益社団法人 国際農林業協働協会

編集発行責任者 専務理事 西山明彦

〒107-0052 東京都港区赤坂 8 丁目 10 番 39 号 赤坂KSAビル 3 F

TEL (03)5772-7880 FAX (03)5772-7680

ウェブサイト www.jaicaf.or.jp

印刷所 NPC 日本印刷株式会社

International Cooperation of Agriculture and Forestry

Vol. 47, No.2

Contents

Food and Nutrition Value Chain.

MUTSUYOSHI Emiko

Food and Nutrition Value Chain

Nutritional Improvement in Africa —The Role of the Market—.

SAKURAI Takeshi

Present Situation and Challenges of Food Safety in Bangladesh.

Md. ALAM Khurshed and YOSHINO Keiko

Tackling the Challenges of Food Security through Biofortified Crops

—Current Status and Strategies in Four African Countries—.

HIGA Momoko

Challenge of Increasing Rice Production at Amhara Region in Ethiopia

—Improvement on Rice Seed Production & Supply System and Extension System
through Implementation of Large-scale Demonstration—.

MATSUDA Akira and SHIRATORI Kiyoshi

Country-wise Features on Animal Health

—Food, Nutrition and International Cooperation—.

KASHIWAZAKI Yoshihito